

冬の「ヘンゼルとグレーテル」にはじまり、僕自身がプロデュースする夏の新作オペラも早3作目。第1作の「蝶々夫人」では、涙腺に直接訴えかけるこれぞイタリアオペラを、2作目の「魔笛」では、劇場空間を余すことなく駆使した宝箱のようなアンサンブル・オペラの醍醐味を愉しんでいただきました。さて、3作目に取り上げるのは時代を超えて愛され続けるオペレッタの傑作「メリー・ウィドウ」です。

ようこそ、芸術deパリへ



Yutaka
佐渡 裕

優れたメロディー・メーカーであるレハールの心に残る音楽と、パリの華やかさ、オーケストラ、ダンス、合唱、デュエットにアンサンブル、お芝居とを見事に融合させなければならない作品。3作目だからこそなつた、これ以上ない豪華なキャスト陣を迎え、ありったけの愛情をこめて、最高にお洒落で楽しい夢のステージを創ります。この劇場ならではの、五感を揺るがす感動をぜひ体験してください！



広渡 勲(演出)

豪華でボーダレスな出演者が結集。究極のエンターテインメントの誕生です！

オペレッタは、歌、踊り、ドラマが渾然一体となって創り出す究極のエンターテインメント。ミュージカルの源流でもあるオペレッタの中で、世界で最も愛されている作品が「メリー・ウィドウ」です。今回は、オペラ界にとどまらず関西喜劇の重鎮、桂ざこばさん、宝塚出身の平みちさんをはじめ、今日日本で考えられる限りの、豪華でボーダレスな出演者が勢揃いしました。舞台美術は今日的上演を考え、世界のポップアートを常に先導しているロンドンの新進デザイナー、サイモン・ホルズワース、伝統とファッションな美学を展開するイタリアの衣

装デザイナー、スティーヴ・アルメーギ氏、音楽と演劇のはざままで絶妙の舞台空間を現出する日本を代表する照明家 沢田祐二。日、伊、英のアーティスト達が腕を競うコラボレーション。そして、要の音楽を支えるのは佐渡裕氏、役者に不足はありません。

素敵な思い出がいっぱい詰まったおもち箱のような、粹でお洒落な舞台。究極のエンターテインメントの誕生にお立会いください。

佐渡裕 芸術監督2008
プロデュース
喜歌劇

メリー・ウィドウ

[全10公演]

[全3幕:日本語上演・字幕つき/新制作] (上演時間:2時間30分休憩含む^{予定})

'08 6/21(土) 22(日) 23(月) 25(水) 26(木) 28(土) 29(日) 7/3(木) 5(土) 6(日)

各日2:00PM(1:15PM開場) ※6.23(月)のみ7:00PM(6:15PM開場)

兵庫県立芸術文化センター大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A¥12,000 B¥9,000 C¥7,000 D¥5,000 E¥3,000 (全席指定 税込)

電話予約
お問合せ **芸術文化センター 0798-68-0255**
チケットオフィス (10:00AM~5:00PM月曜休み※祝日の場合翌日)

[インターネット予約] 24時間予約可能!
兵庫県立芸術文化センター 検索 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

会員電話予約開始 [B・C・D・E席2/19(火)] [A席2/20(水)] 一般電話予約開始 2/24(日)
※窓口での引取り・販売(残席ある場合)は2/26(火)より

◎チケット取扱いプレイガイド

電子チケットびあ0570-02-9999 [Pコード279-641]

ローソンチケット0570-000-407 [オペレーター対応] 0570-084-005 [Lコード56629]

イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&携帯電話)

*プレイガイドでのお取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。

【ご注意】●未就学児童のご入場はご遠慮ください。●やむを得ない事情により、出演者等が変更になる場合がございます。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。●開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくことになります。時間に余裕をもってお越しください。●場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。●本公演の字幕は舞台の両脇に設置されます。一部見にくい席がでる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

★託児サービスのご案内(1人¥3,000・定員あり・要予約) 対象:3歳以上小学校入学前まで
申込み:公演日の1週間前までに、芸術文化センターチケットオフィスへお申込みください。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(企画・制作)、関西テレビ放送



THE MERRY WIDOW

Book and Lyrics by
Victor Léon and Leo Stein.
Music by Franz Lehár



夢の続きは、粹でお洒落なオペレッタ!

佐渡裕 芸術監督2008
プロデュース
喜歌劇

メリー・ウィドウ

作曲=フランツ・レハール 台本=ヴィクトル・レオン/レオ・シュタイン [芸術監督・指揮] 佐渡裕 [演出] 広渡勲 [全3幕:日本語上演・字幕つき/新制作]

2008 6.21(土) - 7.6(日) 兵庫県立芸術文化センター大ホール
[全10公演] 主催:兵庫県/兵庫県立芸術文化センター(企画・制作)/関西テレビ放送



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



追加公演決定! 堂々12公演ロングラン!

数々の夢を実現してきた佐渡裕が放つ、夏の新作第3弾は、オペレッタの傑作「メリー・ウイドウ」!
 ベルエポックの華開いたパリを舞台に繰り広げられる、お洒落な大人の恋物語。
 美しい音楽に、歌あり、笑いあり、ダンスあり。佐渡シェフならではの贅沢なオペレッタを、とくとご堪能あれ!

THE MERRY WIDOW

佐渡裕 芸術監督2008 プロデュース 喜歌劇 **メリー・ウイドウ**

作曲=フランツ・レハール 台本=ヴィクトル・レオン、レオ・シュタイン [全3幕/日本語上演・字幕つき/新制作]
 (上演時間:2時間50分休憩含む予定)

2008 6.21(土)-7.6(日) 兵庫県立芸術文化センター大ホール
 [全12公演]

世界一のナイトクラブ "MAXIM'S"へようこそ。

この日大ホールは、
 リッチで華麗なパリの社交場と化す!

「女・女・女のマーチ」「ヴィリアの歌」「唇は黙しても」...
 お洒落で小粋な会話に、心酔させる美しいアリアの数々、
 そして忘れてならない痛快フレンチカンカン!
 見事に踊りきったなら拍手喝采願います!

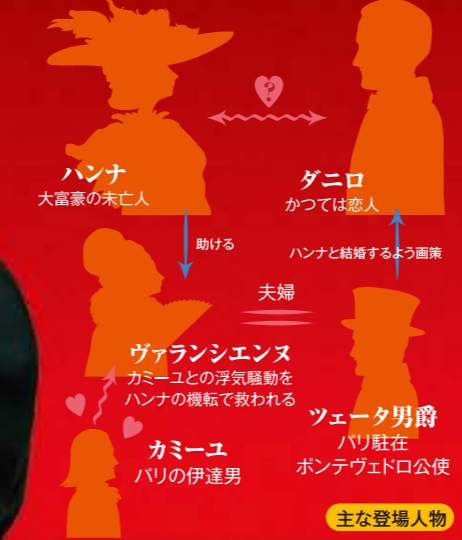


Staff
 [装置] サイモン・ホルズワース
 [衣裳] スティーヴ・アルメリーギ
 [照明] 沢田 祐二
 [振付] 川西 清彦
 [合唱指揮] 矢澤 定明
 [舞台監督] 幸泉 浩司
 プロデューサー: 小栗哲家 (兵庫県立芸術文化センター企画制作アドバイザー)
 テクニカル・コーディネーター: 関谷潔司 (兵庫県立芸術文化センター)



Story

**愛はお金か、お金は愛か?
 大人の恋の結末は?**
 舞台は華の都パリ。とある小国(ボンテヴェドロ)の公使館ではパーティーが催されている。国をもゆるがす巨万の富を相続した陽気な未亡人(メリー・ウイドウ)ハンナの登場で遺産争奪騒動の火蓋が切られる。金を目当てにハンナに群がる男たち。一方、肝心の妻(ヴァランシエンヌ)の浮気には全く気づかない大使のツェータ男爵は、財産の国外流出を阻止すべく、かつてハンナと恋仲だったダニロ男爵とひっつけようとする。たちまち恋の残り火は燃え上がるが、なかなか素直に好きとは言えないふたり。はたして、大人の恋の結末は...?



オペレッタの傑作を生んだ作曲家

フランツ・レハール
 レハールの代表作でありウイナ・オペレッタの傑作といわれる「メリー・ウイドウ」の初演は、1905年ウィーンで行われ大成功を収めました。その後、今日に至るまで世界中で上演され続けます。稀代のメロディーメーカーと称される、華麗で美しい旋律に彩られたレハールの音楽は、あなたの心を魅了するに違いありません。
 Franz Lehár 1870-1948

Cast

Hanna Glawari
 ハンナ・グラヴァリ(陽気な未亡人)
 佐藤しのぶ 塩田 美奈子
 日本が誇るスター・ソプラノがダブルキャストで!

Baron Mirko Zeta ミルコ・ツェータ男爵 [ボンテヴェドロ公使] 平野 忠彦 松本 進	Bogdanowitsch ボグダノヴィッチ [領事] 池田 直樹 竹澤 嘉明
Valencienne ヴァランシエンヌ [ツェータの妻] 並河 寿美 天羽 明恵	Sylviane シルヴィアヌ [領事の妻] 平みち(全日) 桂ごこば(全日)
Graf Danilo Danilowitsch ダニロ・ダニロヴィッチ 伯爵 [ボンテヴェドロ公使館員] 大山 大輔 黒田 博	Pritschitsch プリチッチ [退役大佐] 泉 良平 片桐 直樹
Camille de Rosillon カミーユ・ド・ロシオン [パリの伊達男] ジョン・健・スツツオ 経種 廉彦	Praskowia プラスコヴィア [プリチッチの妻] 押見 朋子 牧野 真由美
Vicomte Cascada カスカダ子爵 [パリジャン] 小貫 岩夫 高野 二郎	Kromow クロモウ [公使館参事] 久岡 昇 栗原 剛
Raoul de St Brioche ラウール・ド・サンブリオッシュ [パリジャン] 花月 真 晴 雅彦	Olga オルガ [クロモウの妻] 鈴木 純子 渡辺 玲美

[合唱]ひょうごプロデュースオペラ合唱団 [管弦楽]兵庫県立芸術文化センター管弦楽団
 [ダンサー/助演]夏山周久、吉元和彦、山田薫 ほか